

建設通信新聞

能登半島地震に支援

日測協

日本測量協会(清水英範会長)



は9日、東京都文京区の東京ドームホテルで新年賀詞交歓会を開いた。開催は4年ぶりで、業界関係者ら約200人が参加した。

清水会長は「元旦に発生した能登半島地震は、2016年の熊本地震を上回る地殻変動となり、石川県の輪島市周辺では、地盤の隆起も大きかったという。今後の復旧・復興を考えた時、測量の専門家が活躍しなければならぬ。当協会は応分の貢献をするつもりだ」と災害支援に協力する意向を示した。写真。

全国測量設計業協会連合会の岩松俊男会長は「今回の災害では、全測連会員の石川県・富山県・新潟県の測量設計業協会らが、行政とともに災害査定を含めた情報共有に努めた。今後も一丸となって復旧・復興に向けて頑張っていく」と述べた。岩松会長が献杯の音頭を取り、歓談に移った。